

質 疑 回 答 書

工事番号： 06-11620

工 事 名： 北海道立農業大学校新館寮改修工事

入 札 日： 令和 6 年 6 月 4 日

番号	質 疑 事 項	回 答
1	<p>屋上防水改修工事(改修 A-1)について、工事概要表(A-001)、仕上表(A-004)、内訳書(P8)では既存防水面高圧洗浄 下地処理 防水となっていますが、矩計図(A-013)では既存アスファルト防水露出仕上撤去となっており図面により相違があります。 既存平場面の防水は撤去しないと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、屋上防水改修工事のうち平場については、既存防水層は存置とし、高圧洗浄を行った後、プライマー処理のうえアスファルト防水(D-1)(無窯型)を新設することとしています。 矩計図【改修前】(A-013)の図面表記「A-1 平場:アスファルト防水露出仕上 撤去」は誤りですので、図面を修正いたします。</p>
2	<p>屋上防水改修工事(改修 A-1)について、矩計図(A-013・014)で押えコンクリートが表記されていますが、押えコンクリートを解体して防水改修を行うということでしょうか。若しくは押えコンクリートの上に防水を施工するということでしょうか。ご教授ください。</p>	<p>先のご質疑に対する回答のとおり、屋上防水改修工事のうち平場については、既存の保護コンクリートを含め既存防水層は存置とし、高圧洗浄を行った後、プライマー処理のうえアスファルト防水(D-1)(無窯型)を新設することとしています。 矩計図【改修前】(A-013)及び矩計図【改修後】(A-014)の図面表記に係る旗揚げ矢印の位置が誤りですので、図面を修正いたします。</p>
3	<p>外部建具改修工事(改修 C-1)について、建具表(A-025・026)にてAW-2の障子のみ交換となっていますが、専門業者に確認したところ新築当時と現在の規格が変わっていて、既存の枠に合わないとの事でカバー工法で考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>ご指摘にあります金属(アルミ)製建具については、設計において専門業者に対し内容の確認をしたうえで見積書を徴取していることから、設計どおりの施工が可能であると考えます。 なお、現地調査の結果、設計どおり施工することが不可能であると確認された場合には、打ち合わせ協議のうえ対応することとします。</p>
4		
5		